令和７年度７月全校集会校長講話

令和７年７月２３日（水）

おはようございます。校長の鴨志田新一です。
毎日、暑い日が続いております。皆さんの体調管理はできていますか。

本校は、２学期制ですので、１学期が終わるというわけではなりませんが、明日から３９日間の夏休みに入ります。
現在、常盤高校では、大規模改修が行われています。夏休みに入ると、工事も本格化し、教室に入れなかったり、クーラーが使えない時期があったりと、皆さんには不便をおかけします。
工事の関係者の方も、安心・安全を最優先して、工事を行ってくれています。皆さんのご協力をお願いします。

さて、今日は、アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの「青春」という詩の一節を紹介します。結構、有名な詩で、校長講話などでもよく紹介されています。もしかしたら、聞いたことがあるかもしれません。

「青春」とは人生のある期間を言うのではなく心の持ち方を言うのだ
想像力、意志、情熱、勇猛心、冒険心こういう心の持ち方を青春というのだ
年を重ねただけでは人は老いない
理想を失うとき初めて老いがくる

今の自分を振り返ってみてください。年齢的には、皆さんは青春時代といえるでしょう。でも、理想や情熱、意志のない人は、例え１０代であっても、青春と呼ぶことはできないのです。
電車に乗っていると、高校生が体を丸めて、スマホをいじっている姿を見かけます。外見からは判断できませんが、もしかしたら、彼らは青春ではないのかもしれません。

私の知り合いで５０歳ぐらいからジョギングを始めて、６０歳を超えてからも、フルマラソンを３時間で走った人がいます。市民ランナーで３時間というのは、そう簡単なことではない
そして、何が凄いかというと、年を重ねても常に自己ベストのタイムを目指して、普段から練習をしていることです。
まさに青春そのものです。こういう人を見ると、自分も勇気がもらえるし、憧れてしまいます。

皆さんの中には、もしかしたら、理想や情熱を失ってしまった人もいるかもしれませ

ん。そういう場合は、まず行動することです。体を動かすことです。

楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ

感情や気持ちを即座に変えることは難しいかもしれませんが、行動を変えることは可能です。だから、悲しくなったり、落ち込んだりしたりした時も、楽しそうな様子で話したり、笑ったりしましょう。
そして、一人一人のウエルビーイング、幸せが舞い込んできます。

明日からの夏休み。何かおかしいな、変だなと思ったら、一歩立ち止まり、周りをよく見てください。避けられるものもあるはずです。
そして、トラブルに巻き込まれそうになったら、誰かに相談し、場合によっては警察にも相談して、決して一人で解決しようとしないこと。

最後に「凡事徹底」。当たり前のことを当たり前にする。私は、このことを「凡事徹底」と呼んでいます。
人間としての、生きる上でのマナー、礼儀、服装、あいさつ、これらのことを自然に行うことで、何事にも耐えることができる人間、志が高く、品格のある人間になることができます。

しかし、最初から自然に行うことはできません。最初は、意識して、まず、行動することです。行動することで、自然となってきます。そして、品格のある人間になることもできます。

もう一度、「青春」の詩を読みます。

「青春」とは人生のある期間を言うのではなく心の持ち方を言うのだ
想像力、意志、情熱、勇猛心、冒険心こういう心の持ち方を青春というのだ
年を重ねただけでは人は老いない
理想を失うとき初めて老いがくる

それでは、９月１日に学校が再開したとき、皆さんが元気で会えるように事故や怪我のないよう、自ら気を付けてください。

私からは以上です。